

令和元年度 富山第一高等学校 学校総合評価

今年度の重点目標に対する総合評価と次年度に向けての課題

今年度のアクションプランを掲げると以下である。

- | | | |
|----------------------------------|----|---|
| 1, 教員の教科指導力向上と生徒の学習意欲の向上(教務部が担当) | 評価 | B |
| 2, 通学時のマナー向上とあいさつ指導(生徒指導部が担当) | 評価 | B |
| 3, 主体的、積極的に活動する生徒の育成(生徒会部が担当) | 評価 | A |
| 4, 自ら健康管理のできる生徒の育成(保健部が担当) | 評価 | A |
| 5, 読書習慣の涵養と図書館利用の推進(図書部が担当) | 評価 | B |
| 6, 清掃活動を通しての協調性の育成(環境整備部が担当) | 評価 | B |
| 7, 生徒の志望進路の実現支援(進学指導部が担当) | 評価 | B |
| 8, 学校の広報活動の充実(総務部が担当) | 評価 | B |

それぞれの部署で具体的な方策を考え、年間を通しての取り組みの結果、A評価が2つ、B評価が6つであった。昨年に比べると、どの部署も自らを厳しく評価したように見受けられる。例えば1の探究活動への取り組みであるが、目標が高いため、完璧にやり遂げることは大変難しい。そのためA評価にはなかなかできないが、この1年間教務部を中心にかなり研究研鑽を積んだという実績は高く評価したい。この取り組みが次年度に継続発展すればと考えている。また、2の生徒へのあいさつ励行の指導においても、毎日地道にできることは精一杯行っている。しかしあいさつを生徒全員ができることをもってA評価とするならば、A評価をつけることは不可能である。ここではその目標達成のための教職員の努力を高く評価し、この後も身近なところから本校生徒の成長を促せたらと考える。

ここ数年難しく考えていることが2つある。一つは5の読書習慣の定着である。昨今教職員が読書をしなくなっている。教職員がまず読書の重要性を理解し、読書によって生徒が成長するという確信を持つことが大切であり、校内にその方向性を醸し出すことを図書部を中心に組み込まなければならないと考える。次年度への継続的な課題である。さらにいま一つは6の清掃活動を通しての生徒の育成である。つまり生徒に掃除をさせることであるが、これは教職員の指導が必要であり、教職員の負担が実質増えることになる。とはいえ環境整備部という一部署に任せることなく、すべての教職員が関わるなかで、この後もこの課題に取り組むと思う。

改めていうまでもないが、本校が生徒にとってよい環境を整えた教育現場になるよう努力していかなければならない。その本校に生徒は何を求めているか。いま立ち止まり考えてみると、その一つの答えは、将来上級学校に進学したいと考えている生徒は進学ための勉強の場を、将来就職したいと考えている生徒は就職のための勉強の場を求めていると思う。その求めに応えられる学校にしたい。一方本校が生徒に求めていることもある。それは本校教育の柱であり、「学校経営計画・学校の特色」に掲げてある3項目である。この3項目は本校生徒の理想像であり、その育成を次年度も学校全体で取り組みたいと考えている。本校は「総合」「美術」「特進」「S特進」という4つのコースを有している。多様な生徒が在籍しているが、生徒の求めに応えるため、また本校の思いを生徒に伝えるた

め教職員全体で議論を重ね、卒業のころ、富山第一高校に入学してよかった、富山第一高校の卒業生になれてよかったということばをすべての生徒が残してくれるよう、本校教職員は毎日の教育活動に取り組みたいと思う。

今年度の重点課題(アクションプラン)

1 学習活動・教科指導

目 標	教科指導力を高め、生徒の主体性や学習意欲の向上を図る
方 策	<ul style="list-style-type: none">・ICT 機器を効果的に活用し、生徒の興味関心を引き出す・「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業を実践する・教員研修会や研究授業を通して指導方法を研究する
達 成 度	<ul style="list-style-type: none">・総合的探究（学習）の時間について、各学年が創意工夫し年間指導計画を立て、学年所属教員の共通理解、協力のもと組織的な指導ができた・北陸大学と高大連携協定を締結し、双方が協力して互いの教育力向上や教育内容の充実を図った
具体的な 取組状況	<ul style="list-style-type: none">・2学年の総合的な学習の時間において、北陸大学の教員による出張講座やキャリア講演会を実施した。また北陸大学に出向き、大学に直接触れた。・1学年では総合的な探究の時間を先行実施し、SDGs を軸とした探究活動に取り組んだ・アクティブラーニングをテーマとした校内教員研修会を実施し、新学習指導要領の狙いを理解した・校内研究授業では「主体的、対話的で深い学び」をテーマとし、生徒の思考力、判断力、表現力を高める授業を実施する中で、教員の指導力向上を図った・金沢高校の探究学習の担当者を招き、自主的に学習会を開き、先進的な実践事例を学んだ
評 価	B
次年度へ の課題	<ul style="list-style-type: none">・総合的探究の時間の取り組み、「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業改善により、徐々に生徒に学ぶ態度が育成されてきているが、その資質・能力が身についたかの評価について検討しなければならない。そしてそれを踏まえて指導内容を改善していくことが求められる・探究活動において蓄積した指導方法をもとに、3年間を見通した一貫性のある計画をたて、組織的な取り組みへと発展させなければならない・すべての教科で探究活動を行い、学びの充実を追求しなければならない

2 生徒指導

目 標	<ul style="list-style-type: none">・公共交通機関利用マナーの向上及び自転車運転ルールの徹底・すすんであいさつができる生徒の育成
方 策	<ul style="list-style-type: none">・「さわやか運動」などであいさつや声掛け、乗車マナー指導を行う・学年集会、「学年通信」などを通して意識喚起を行う・毎朝の校前指導を継続する・交通安全指導の日（1日・15日）には、通学路に出向き指導を行う
達 成 度	<ul style="list-style-type: none">・公共交通機関の利用マナーや自転車運転ルールの遵守について、いろいろな機会を設け指導した・自らあいさつのできる生徒や教員から声を掛けるとあいさつを返す生徒がいる反面、教員のあいさつに応えることもせず去って行く生徒もいて、十分な指導ができたとはいえない
具体的な 取組状況	<ul style="list-style-type: none">・「さわやか運動」でのあいさつや声掛けを6月と10月に実施した・6月25日（火）と10月25日（金）の放課後、富山地方鉄道に乗り込み、乗車マナー指導を実施した・各月の頭髪服装検査の日に、公共交通機関利用マナーや歩行マナーや自転車運転ルールについて指導した・校前指導として毎朝職員朝礼後、管理職と副担任が校門前や通学路に立ち、あいさつを交わしながら交通安全指導を行った・毎月1日、15日を基本とする2回交通安全指導の日を設け、管理職と副担任が通学路に立ち、あいさつを交わしながらその指導を行った
評 価	B
次年度へ の課題	<ul style="list-style-type: none">・自転車運転ルールについて引き続きの指導が求められる・生徒会校風委員会と連携し、自らさわやかなあいさつができる生徒を増やしたい

3 生徒会活動（特別活動）

目 標	委員会活動やその他の活動を通して、主体的、積極的に活動できる生徒を育成する
方 策	<ul style="list-style-type: none">・個々の個性を尊重し、委員会活動を行う・文化祭・体育大会などの学校行事の役割分担のなかで、個性を發揮させる・地域清掃活動などのボランティア活動に、主体的に参加させ
達 成 度	計画した事項は実施できた
具体的な 取組状況	<ul style="list-style-type: none">・地域清掃活動などの委員会活動への参加者が増えた・文化祭の企画に、生徒の意見を多く取り入れることができた

評価	A	・献血協力者が増えた
次年度への課題		・生徒会役員が自ら考え、実行できるよう指導したい ・各委員会活動をさらに充実させたい

4 保健指導

目標	生命を尊重し生涯にわたり自らの健康を管理できる生徒の育成
方策	・保健の授業で応急処置や心肺蘇生法を習得させる ・総合的学習の時間に消防署職員を招き、救命講習を受講させる
達成度	1学年の生徒はほぼ全員救命講習を受講した
具体的な取組状況	令和元年12月11日(水)～13日(金)の3日間、1年生392名が救命講習(富山市消防署北部出張所)を受講した。欠席者16名は後日受講させる
評価	A
次年度への課題	今年度同様の計画を立てるほか、教職員対象に緊急時の役割分担や記録の取り方に焦点を当てた研修会を持ちたい

5 図書館活動

目標	読書習慣の定着と図書館の利用を促進する
方策	・「朝の読書」にしっかりと取り組ませる ・学年、教科担当の協力を得て、授業等における図書館活用の機会を増やす ・年間貸出冊数の目標を3500冊とする
達成度	図書の出借冊数はおよそ1,750冊であった
具体的な取組状況	・「朝の読書」の実施に当たり、「学級文庫」を各クラスに配置し、読書環境を整えた ・以下の図書館行事を実施した 図書委員校外研修(7月)、読書感想文コンクール(7・8月) 教養講座(9月)、読書会(10月)、ビブリオバトル(11月)
評価	B
次年度への課題	・「朝の読書」を学校全体の取り組みに位置づけ、実施する ・今年度はじめて実施したビブリオバトルをこの後も継続し、読書活動推進に役立てたい ・授業における図書館利用を各教科に呼びかけたい

6 環境教育

目標	・清掃活動を通じて集団生活を意識し、協調性を育成する ・身の回りの整理整頓を通して、清潔な状態を保とうとする態度を育成する
方策	・学校行事前に清掃活動を行う

	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会活動の指導 ・黒板クリーナー内フィルター清掃（毎月末） ・清掃担当区域の清掃用具点検及び整備（4月・6月・11月） ・除草の実施（5月・10月）
達成度	学校行事前の美化活動は概ね実施できた
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事前に環境整備部員と多くの部活動の部員の協力を得て清掃を行った ・清掃用具の整備を実施した（箒、モップ等） ・生徒会美化委員会の協力を得て、除草活動を行った
評価	B
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会美化委員会との活動の機会を増やしたい ・黒板クリーナー内フィルターの清掃の徹底を図りたい ・短い時間内での清掃の徹底を行いたい

7 進路支援

目標	多様化する生徒の進路志望に適した有効で実践的な情報提供を行い、進路目標実現へ向けて指導を行う
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学校説明会や来校訪問で得た情報を取捨選択し、各担任がその時に必要な情報は何かを踏まえながら、校内LANの活用を含め、閲覧しやすい環境を作る ・各種学校から送付されてきた資料を直接配布する ・各学年の特性に応じた適切な情報を配信する <ul style="list-style-type: none"> 1 学年：2年次に選択する文系・理系の情報に加え、1年次から受験を意識できるような情報の提供 2 学年：各大学、短大、専門学校で学べる学問分野の情報や大学入学共通テスト（新テスト）に関する情報の提供 3 学年：志望校をできるだけ早く決定できるような情報の提供 ・生徒の進路志望調査をもとに、複数の教員が共通理解を持ち進路実現につながる指導を行う ・これらの情報提供がどの程度生徒たちの進路指導に生かされたのかを各担任より聞き取り調査を行い、次年度に生かしていく
達成度	各学年に必要な情報を概ね提供できた
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校内LANを活用し、各種学校の情報をクラス担任に配信した。その情報を担任が取捨選択し、生徒へ提供した ・校内LANを活用し、各種学校説明会や来校訪問で得た情報を全教員に配信し、共有することができた ・部内会議を定期的に行い、各学年の担当者を通じての情報を共有し、進路指導に生かすことができた ・全体保護者会や個別保護者会に際し、各学年に的確な情報を提供することができた

評 価 B

- 次年度への課題
- ・校内LANを活用しての情報発信の回数を増やし、常に新しい情報を適当な時期に提供できるよう工夫する
 - ・クラス担任とのコミュニケーションを密にし、提供する情報内容や進学情報誌の取捨選択を行い、生徒の進路選択に生かしたい
 - ・進学指導部が主催する様々な取り組みや生徒に関わるデータを、外部業者と連携を取りながら進め、生徒の進路選択や学習指導に生かせるような工夫をする

8 情報発信

- 目 標 広報活動の充実を図り、スピーディーな情報を発信する
- 方 策
- ・LINE配信サービスで生徒と保護者にいち早く正確な情報を伝える
 - ・本校の教育活動や受験情報をホームページで発信し、中学生への広報活動を充実させる
 - ・学校内の伝達・連携を充実させる
- 達 成 度
- ・LINE配信サービスを開始したが、順調に進んでいる
 - ・ほかは予定通りに実施できた
- 具体的な取組状況
- ・LINE配信を新しく取り入れたが、うまく対応することができた
- 評 価 B
- 次年度への課題
- ・LINE配信サービスをより充実させ、一層柔軟な対応を試みたい
 - ・ホームページのリニューアルについての検討を始めたい
 - ・職員会議等ペーパーレスに向けた運営を検討したい
 - ・職員間の情報共有にICTを取り入れるなどの検討に入りたい